

計画の柱

1. 医療機能と質の向上

〈取組計画〉

- ◆ 救急医療体制の充実、手術室や集中治療室等の効率的な運用を図り、良質な医療提供に向けた、チーム医療を一層推進します。
- ◆ がん診療について、がん薬物療法、放射線治療などの高度専門医療の提供、緩和ケアなど患者支援を含めた総合的な診療体制や、患者と家族への情報提供・相談支援を充実させます。
- ◆ 安全・安心で質の高い医療を提供するために、さまざまな専門職種の安定的な確保に努めます。
- ◆ 医療安全の取組みを高め、信頼・安心の向上に努めます。また、引き続き、院内感染防止対策、大規模災害対策や火災訓練などに取り組みます。

2. 地域医療連携の推進

〈取組計画〉

- ◆ 「あんしんルート」事業等、病院間のネットワークをさらに進めるよう取り組みます。また、かかりつけ医と連携し、専門的治療への早期の移行を行います。
- ◆ 在宅支援に向けた多職種連携を進めていきます。また、地域包括ケアシステムの推進を担う「虹ねっと連絡会」への参画により、関係機関との連携を図ります。
- ◆ かかりつけ医などと地域医療連携ネットワークシステムの構築を進めます。段階的に利用範囲を拡大し、早期に本格運用を開始できるよう取り組みます。

3. 患者サービスの向上、職員の働き方の改善

〈取組計画〉

- ◆ 患者満足度調査を通じて満足度の向上に努めます。外来における待ち時間短縮に努めます。また、わかりやすい案内表示や受付・相談窓口など院内環境の改善に努めます。
- ◆ ホームページや病院広報誌などにより、当院の情報を積極的に発信します。また、市民の健康意識、病気や治療に関する知識を高めるため公開講座などを開催します。
- ◆ 院外の研修会、学会等への参加や専門・認定資格等を取得しやすい環境を整え、職員の自己研鑽を通じてモチベーションの向上を図ります。
- ◆ 職員の業務負担の軽減に取組むとともに、勤務環境の整備を行います。また、ハラスメントやメンタルヘルスに対する相談体制を充実させます。

4. 業務の効率化と経営基盤の確立

〈取組計画〉

- ◆ 地域の医療機関との連携の強化、救急患者の積極的な受入れなどにより、急性期医療の充実を図り、経営基盤の安定を図ります。
- ◆ 各種費用の抑制、施設や設備の改修コストの低減に努めます。高額な医療機器の導入にあたっては必要性、採算性の検討及び導入後の稼働状況の確認を行います。
- ◆ 各種情報システムの計画的な導入及び更新、既存情報システムやデータの活用、職員の情報リテラシー・セキュリティ対策の向上を進めます。
- ◆ 職員が病院の経営状況や業務実績を適時かつ適切に共有できる環境を整備し、目標管理を通して、職員の経営意識の醸成を図ります。

これまでの主な取組み

- 救急医療については、各科医師が協同の診療体制構築や救急専門医1名赴任など、体制整備を図った。
- 周産期医療については、ハイリスク妊娠・分娩に迅速に対応するとともに、感染症指定医療機関としてCOVID-19陽性妊婦を受け入れた。
- 手術室増設は、施設の構造上の問題から進捗していないが、手術室の利用方法の見直しにより稼働率は向上している。
- 脳卒中集中治療室（SCU）を令和元年6月に開設した（7階北病棟（神経内科・脳神経外科病棟））。また、地域の医療ニーズに応え、専門的治療を提供するため、不整脈外来、先天性代謝外来、音声・嚥下外来等の特殊専門外来を新設した。
- 管理栄養士による適切な治療食の提供、病棟での薬剤師業務内容の拡大、臨床検査技師による臨床検査データに基づく新たな疾患把握、放射線機器の被ばく線量管理システムによる被ばく線量の適正化など、医療専門職種が連携して治療・ケアを行うチーム医療を推進している。
- 令和3年4月1日にがんゲノム医療連携病院の指定を取得し、がん診療の充実に取り組んだ。

- 病病連携・病診連携については、地域医療機関への訪問や「あんしんルート事業」を充実させるとともに、「市立豊中病院ネット」を構築し、地域全体で支える医療に取り組んでいる。
- 医療と介護の連携について、関係機関との連携や早期介入を行うことで、退院後のスムーズな在宅生活への支援を実施できている。また、受診歴のない方からの相談を受け付けるなど、相談窓口の拡大を進めている。

- 患者さんの声（意見箱）や患者満足度調査の結果などから要望を把握し、オンライン面会の導入や公衆Wi-Fiの整備等院内環境を整備するとともに、診察・会計待ち時間の短縮を図るなど患者満足度の向上に取り組んだ。
- 職員が意欲的に働けるよう、知識・技術向上においては環境整備を行うとともに、特殊勤務手当を見直すことでモチベーション向上を図った。
- 働き方の改善に向け、医師事務作業補助者（メディカルアシスタント）の効果的な配置や「医師の働き方改革検討ワーキング」での検討により医師の業務負担軽減を図るとともに、看護補助事務員の採用や病棟補助員の業務の見直しなど看護師の業務負担軽減を図った。
- 相談対応やストレスチェックから改善活動に取り組み、働きやすい職場環境づくりに取り組んでいる。

- 新規入院患者は増加、診療単価は上昇傾向にあったが、令和2年度は、コロナの影響により新規入院患者数が大幅に減少。
- 在院日数を短縮し、診療単価は上昇したが、日数短縮以上に新規入院患者を獲得できず、病床利用率が低下した。令和2年度は、コロナ受入れによる病棟編成により、さらに病床利用率が低下した。
- 後発医薬品への切替えやバンチマーク等を活用した診療材料の価格交渉を行うなど、費用の抑制に努めている。
- 光熱水費は、省エネ機器導入等により電気ガスエネルギー使用量を削減している。
- 施設・設備については、長期修繕計画に基づき、改修を実施している。
- 市立豊中病院総合情報通信システム「TOPICS」を再整備し、システムを安定的に稼働するとともに、「市立豊中病院ネット」の構築や公衆Wi-Fi整備等に取り組んだ。
- 個人情報保護については、全職員向けのセキュリティ研修を実施するなど、職員への啓発活動を進めている。

主な課題と方向性

- 専門医の不足や新型コロナウイルス感染患者受入れによる救急応需率の低下
- 手術室の不足等による手術待ち日数の長期化
⇒安定した救急患者の受入れ
⇒地域需要に対応した手術体制の構築
- 診療機能向上のための医療スタッフやスペースの不足
⇒診療機能向上にむけた施設の有効活用と職員の適正な配置
- 集中治療室の在室日数短縮に伴う病床利用率の低下
⇒外来患者の確保（紹介患者の増加）
⇒安定した救急患者の受入れ（重症患者の受入れ増加）
- がん薬物療法ベッドの不足、IMRT実施に必要な専門医の不在
⇒がん診療の充実（地域がん診療連携拠点病院）
- 高齢者増加によるリスク増加や感染症拡大によるリスク
⇒医療安全の向上、新興感染症への対応

- 外来患者数（紹介患者数）の減少
⇒地域医療連携の推進による紹介患者・紹介率の向上
- コロナ禍での関係機関との連携
⇒コロナ禍における連携体制の構築
- 「市立豊中病院ネット」参加医療機関増の鈍化
⇒「市立豊中病院ネット」の機能の充実

- 接遇に対する職員の意識向上
- 曜日や時間帯により診察および会計の待ち時間が長い
- 各種相談窓口が点在
⇒患者サービス向上に向けた取組みの推進
⇒さまざまな媒体を活用した広報の充実
- 働き方改革の時間外労働規制
⇒健康管理を重視した勤怠管理及び職員の業務負担軽減に向けた取組みの推進

- 新規入院患者数減少
- 病床利用率低下
⇒新規入院患者数の獲得、病床の効率的な利用
⇒収益の確保と費用の適正化
- 施設の老朽化・新たな医療機能に合わせた改修
⇒計画的な施設・設備の整備
- デジタル化による利便性・効率化向上への要望増加
⇒新たなデジタル技術による業務効率化

〈現行計画の進捗状況〉

取組項目	項目数
(1) 医療機能と質の向上	
①診療機能の向上	13
②がん診療の充実	5
③スタッフの充実	1
④医療の安全・安心の向上	3
(2) 地域医療連携の推進	
①病病・病診連携の強化	1
②医療・介護の連携の強化	2
③医療情報の連携	1
(3) 患者サービスの向上、職員の働き方の改善	
①患者サービスの向上	3
②地域への積極的な情報の発信	1
③職員のモチベーションの向上	1
④働き方にかかる意識改革	3
(4) 業務の効率化と経営基盤の確立	
①収益の確保	5
②適切な費用管理	6
③情報化の推進	3
④職員の経営意識の醸成	1
合計	49

平成30年度			
進 捗 区 分			
A	B	C	D
(1) 医療機能と質の向上			
0	13	0	0
0	4	1	0
0	1	0	0
0	3	0	0
(2) 地域医療連携の推進			
0	1	0	0
0	2	0	0
0	1	0	0
(3) 患者サービスの向上、職員の働き方の改善			
0	3	0	0
0	1	0	0
0	1	0	0
0	3	0	0
(4) 業務の効率化と経営基盤の確立			
0	5	0	0
0	6	0	0
0	3	0	0
0	1	0	0
0	48	1	0

令和元年度			
進 捗 区 分			
A	B	C	D
(1) 医療機能と質の向上			
0	13	0	0
0	4	1	0
0	1	0	0
0	3	0	0
(2) 地域医療連携の推進			
0	1	0	0
0	2	0	0
0	1	0	0
(3) 患者サービスの向上、職員の働き方の改善			
0	3	0	0
0	1	0	0
0	1	0	0
0	3	0	0
(4) 業務の効率化と経営基盤の確立			
0	4	1	0
0	6	0	0
0	3	0	0
0	1	0	0
0	47	2	0

令和2年度			
進 捗 区 分			
A	B	C	D
(1) 医療機能と質の向上			
0	11	2	0
0	3	2	0
0	1	0	0
0	3	0	0
(2) 地域医療連携の推進			
0	1	0	0
0	2	0	0
0	1	0	0
(3) 患者サービスの向上、職員の働き方の改善			
0	3	0	0
0	1	0	0
0	1	0	0
0	3	0	0
(4) 業務の効率化と経営基盤の確立			
0	5	0	0
0	5	1	0
0	3	0	0
0	1	0	0
0	44	5	0

(進捗区分)

A：取組完了 B：全ての取組みを実施中 C：取組み一部を実施中 D：取組みの未着手・検討中 E：実施できない・中断している